

第2学年 国語科学習指導案

令和6年10月2日（水）第5校時

- 1 単元名 「つたえよう！生き物のひみつ！」
教材名 「町で見つけたことを話そう」（東京書籍 新しい国語二下）

学習指導要領における指導事項等

【知識及び技能】

(2) ア 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。

【思考力・判断力・表現力等】

A (1) ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。

◎A (1) イ 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。

【学びに向かう力・人間性等】

言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

【言語活動】

・生活科単元「生き物なかよし大作戦」で見つかったり育てたりした生き物について、1年生に向けて組み立てを考えて話す。

2 単元について

○単元観

本単元における重点指導項目は、学習指導要領における[思考力、判断力、表現力等]の「A話すこと・聞くこと」の(1)イ「相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。」である。本単元では、教材「町で見つけたことを話そう」を通して、「話の内容が相手に伝わるようにするためには、どのような順序を踏まればよいのかを考えて話すこと」に重点をおいて指導する。児童が主体的に取り組めるように、「生活科で見つけた生き物のひみつについて1年生に伝えよう」という言語活動を設定する。

既習事項である「出来事があった順序で話す」を活用し、話の内容が相手に伝わるようにするためには、身近なことや経験したことなどから話題を決めること、伝え合うために必要な事柄を選び出すこと、相手に伝わるように話す事柄の順序を考えることが大事になってくる。これらの学習過程をふまえ、順序をよく考えることで、自分の伝えたいことを表現させていく。

○児童観

児童はこれまでに、1年生の単元「小学校のことをしょうかいしよう」で、出来事があった順序で話すことを学習している。2年生では、書くことの単元「こんなことをしているよ」で、メモを利用して「はじめ」「中」「おわり」の順序を意識することで、相手に伝わりやすい文章が書けることを学習した。また、話すこと・聞くことの単元「話そう、二年生のわたし」で、2年生になってからの学習や行事を振り返り、特に心に残っていることを学級の友達に発表するという学習をした。これらの学習を通

して、多くの児童が自身の経験した出来事を思い出し、話したり書いたりすることができるようになっていく。一方で、経験した出来事を羅列するのみになり、自身の考えを十分に整理できず、思いを具体的に表せていなかったり、何を伝えたいのか分からなくなったりしている児童の姿が見られる。このような児童の実態を踏まえ、本単元では、伝えたいことの優先順位を付けるなど、相手に伝わりやすい文章の組み立てを考えて話すことのできる資質・能力を育成したい。

○指導観

本単元では、児童が生活科で見つけた生き物についての情報をメモに書き出し、そのメモを並び替えることで伝えたいことが伝わりやすい文章の構成を考えて1年生に向けて話す活動を行う。本学級の児童にとって、1年生は日常の活動においても関わり合う機会が多く、相手意識をもちながら学習を進めることができる。また、1年生も興味をもちやすい生き物について話すため、下級生にもよく伝わるような話の構成を考えることが必要となる。そのため、本単元の重点指導事項である「相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること」を意識しやすくなると考える。

1時間目は、生活科で見つけた生き物のひみつについて1年生に伝えるという言語活動を示し、相手意識を持たせることで、調べたことをそのまま話すだけでは十分に情報が伝わらないことを確かめ、教科書の文章から「はじめ」「中」「おわり」の中でも、特に「中」の部分に伝えたいことが順序立ててまとめられていることに気付かせ、本単元で身に付けたい力を意識させる。

2時間目は、調べた生き物について、伝えたいことをロイロノートでメモに書き出す活動を行う。メモに書き出す際、もっと詳しく知りたいことなどがあつた場合は、図鑑で調べて書き加えてもよいことを伝える。そして、書き出した事柄を「体のこと」「食べ物」「育て方」等のキーワードを使って分類させることで、伝えたいことがより明確になるようにしていく。また、共有ノートを用いることで、友だちの活動の様子を見ながら活動できるようにする。

3時間目・4時間目は、児童それぞれの進度に合わせた学習が行えるよう、学習を児童に委ね複線型で進めていく。本時である3時間目は、育成を目指す資質・能力に向かうための活動が展開されるよう、授業の冒頭に本単元で身に付けたい力や学習の流れを再確認し、教師が作成したグッドモデルを使ってゴールイメージを共有する。また、児童一人一人が、書き出したメモをどんな理由で順序立てようとしているか、それぞれの順序の付け方を共有した上で、児童に学習を委ねるようにする。学習を進めるにあたっては、ICT、ノート、原稿用紙の活用等、児童が自分の進度や方法に合わせて選択したり、教室内に「友達と意見交流ができるコーナー」を設置して、ここに来れば友達にも先生にも相談したりできるように学びの環境を整えておく。他にも、「学習の流れ」や「交流の仕方の話型」「グッドモデル」等のアイテムをクラウド等に準備しておいて、いつでもどこでも自分が使いたいときに使えるようにしておく。

5時間目は、教科書の動画をグッドモデルとして伝わりやすい話し方を確認し、完成した原稿をもとに話す練習を行う。自身の発表の様子をクロームブックで撮影し、動画として見返すことで、声の大きさや速さが適切であるか、顔が聞き手の方を向いているかといったことを確かめ、改善点を探していく。

6時間目は、これまで準備・練習してきたことをもとに、1年生への発表を行う。発表の様子はクロームブックで撮影しておき、振り返りに活用できるようにするとともに、1年生から感想をもらうことで、自分の伝えたいことが表現することができたという実感を味わわせたい。

7時間目は、前時にクロームブックで撮影した動画を基に自分や友だちの発表の様子を確認し、本単元

で身に付けるべき力である「相手に伝わるように事柄の順序を考えて話すことができたか」を振り返ることができるようにする。

3 単元の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。【(2)ア】	○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 【A(1)ア】 ◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。 【A(1)イ】	○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【(2)ア】	○①「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。【A(1)ア】 ◎②「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 【A(1)イ】	○1年生に「生き物のひみつ」が伝わるように、進んで話す事柄のまとめや順序を考え、学習の見通しをもって、紹介しようとしている。

5 指導と評価の計画（全7時間 本時3／7）

時	○学習活動	見方・考え方等を働かせている姿	学習活動における評価規準と評価方法
1	○学習の見通しを立てよう。 ・生活科「生き物なかよし大作戦」で見つけた生き物について振り返る。 ・調べた生き物について1年生に分かりやすく伝えるための学習計画を立てる。 ・本単元で身に付けたい言葉の力を確認する。(組み立てを考えて話す)	・お手本では「一つ目は」「二つ目は」という言葉を使って話していたよ。順序に気を付けて話すことが大事なんだね。 ・お手本では、「はじめ」に「花屋さんで見つけたこと」、「おわり」では「思ったこと」を話していたよ。 ・話がばらばらだと分かりにくいね。まとめごと話すこ	

		とが大切だね。	
2	<p>○1年生に伝えたいことを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活科カードを見返し、自分が伝えたいことを付箋（ロイロノート）に書き出す。 伝えたいことについて、本や生活科のカード、友達からの情報を使って、更に情報収集をする。 書き出した事柄をキーワードを使って分類し、まとまりをつくる。 ワークシート（ロイロノート）を使って伝えたいことを選ぶ。 振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたいことがたくさんあるけど、全部伝えたら分かりにくいから、自分が一番びっくりした「体のこと」を1年生に伝えよう。 1年生が一番知りたいことは何かな。それを伝えてあげたいな。 「植木鉢の下にいた」「大きい石の下で見付けた」は見付けた場所だから「見付けたところ」をキーワードにしてまとまりをつくったよ。 	<p>【知技①】 <u>ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 付箋に書いた事柄をキーワードを使って分類・整理しているかの確認 <p>【思・判・表①】 <u>ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なことや経験したことなどから話題を決め（伝えたい生き物について）、必要な事柄を選んでいくかの確認
3 (本時) ・ 4	<p>○「はじめ」「中」「おわり」の組み立てを考え、1年生に話す準備をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師のモデル文を使ってゴールイメージを共有し、めあてを確認する。 教師の構成メモを使って文章の組み立て（順序）を確認する。 3・4時間目の学習の流れを確認する。 学習を進める上でのお助けアイテムを確認する。 書き出した付箋を整理し、話す順序（組み立て）を考える。 振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 2時間目でメモに「食べ物」「すみか」「体のこと」「育てていて気がついたこと」を書いたけど、一番驚いたことは、何回も脱皮をするということだから、「体のこと」が伝わるような、話す順序を考えよう。 ダンゴムシの「飼い方」について伝えたいけど、どんな順序で話したら伝わりやすくなるのだろう。「飼い方」について伝えようとしている人を探して聞いてみよう。 	<p>【主体的①】 <u>観察・ワークシート・スピーチ原稿</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生に「生き物のひみつ」が伝わるように、進んで話す事柄の順序やまとまりを考え、学習の見通しをもって、紹介しようとしているかの確認 <p>【思・判・表②】 <u>ワークシート・観察</u></p>
	<p>○「はじめ」「中」「おわり」の組み立てを考え、1年生に話す準備をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートを使って伝えたい順序になっているか友達と確認し合う。 原稿を書く。（書いた原稿は写真に撮ってクラウドにあげる。） 振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル文を読んで、原稿に書くときには、「一つ目は」「二つ目は」を使って書くと、伝わりやすかったです。 メモでは「飼い方」「すみか」の順で書いていたけど、見つけて捕まえる方が先だから、原稿に書くときは順序を逆にしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序やまとまりを考えていくかの確認

5	<p>○伝えたいことがもっと伝わるように工夫しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の動画を見て、話し方のグッドモデルについてどんな姿が良いか確認する。 ・話をしている様子を録画しながら練習をする。 ・録画を見直ししながら振り返りを書く。 ・振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の発表を撮った動画を見返したら、よくきこえなかった。友達の聞きやすい発表と何が違うのだろう。 ・友達は「一つ目は、二つ目は」の代わりに「まず」「次に」「最後に」を使って話していたよ。 	<p>【思・判・表②】 スピーチ練習の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序やまとまりを考えているかの確認 <p>【知技②】 振り返りの記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解しているかの確認
6	<p>○1年生に「生きもののひみつ」を伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生に向けて話す。 ・振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・順序を意識して話せたよ。話すときは、「一つ目は」「二つ目は」と指を使って1年生に伝えたよ。 	<p>【主体的②】 スピーチの様子・振り返りの記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生に「生き物のひみつ」が伝わるように、進んで話す事柄の順序やまとまりを考えて紹介できているかの確認
7	<p>○これまでの学習を振り返り、どんな力が付いたのか確かめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組み立てを考えて話すと、自分が一番伝えたいことがちゃんと伝わったよ。これからも話をするときは、「一つ目は」「二つ目は」という言葉を使って順序をよく考えて話そう。 	



<単元末の子どもの姿>

- ・経験、体験したいくつかの話題から伝えたい事柄を選んで、伝わりやすいように順序立てて話している姿

<振り返りの例>

- ・わたしは、生活科で生き物をたくさん見つけたけれど、1年生も好きそうなダンゴムシを選びました。わたしが初めて知って驚いたダンゴムシの体のことを最初に伝えたいと思ったので、「はじめ・中・おわり」の中のところで、「体のこと」を1つ目に、1年生が知りたいと思った「えさのこと」を2番目に話しました。1年生も「知らなかった体のことがよくわかった」と言ってくれてうれしかったです。
- ・「足のこと」「脱皮のこと」「おすとめすの見分け方」の3つを伝えようと思って順番を迷ったけれど、友達にアドバイスをもらって、一番びっくりした「脱皮のこと」は最後に話すことにしました。話のまとまりに気を付けて、どんな順番で話したいかをよく考えて組み立てを決めておくと、自分の伝えたいことを伝えることができました。

7 本時の指導

(1) 目標

- 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。

(2) 評価規準

- 1年生に「生き物のひみつ」が伝わるように、進んで話す事柄の順序やまとまりを考え、学習の見通しをもって、紹介しようとしている。【主体的①】
- 「話すこと・聞くことにおいて」、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序やまとまりを考えている。【思・判・表】

(3) 展開 (3 / 7)

(4) 板書計画